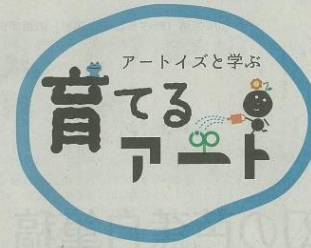


子育て・暮らし

植物絵の具図鑑☆



連載「アートイズと学ぶ 育てるアート」では、八戸市の現代芸術教室「アートイズ」の講師に、子どもがアートに触れる大切さや、保護者はどのようにして子どもの芸術活動を見守るべきかをアドバイスしてもらいます。 ※毎月第1水曜日掲載



準備するもの

- ＜材料＞
 - ・草花
 - ・画用紙
- ＜道具＞
 - ・クリアファイル
 - ・トンカチ、すりこぎなど



作り方



身近な草花の生命力感じて
 2014年から月型に現花を使って絵を描きまし
 代芸術教室「アートイズ」だ。お庭や道端に生えてい
 を講師に、丸8年が経ちました。単なる「ま
 いた下」ではなく、本来持つ「長い冬が終わり、よ
 ついてる発想を引き出す、お花の季節、新芽が
 し、創造と発想の美しさ、芽吹き、少しづつ咲き
 を学ぶ、「過程」にこそ価値がある。始めて春の気配に心が和み
 値がある。心を存せたい。また、ツツミやアサガオ、
 クローバー(クローバー)など、身近な草花に多く
 記事へお花の魅力を、身近な草花に多く
 物絵の具図鑑と題して八戸市の現代芸術教室「アート
 戸学院入構内で採集した草花の植物を介したアート

はつたされ、こすられ、
 かすかにしじ出る草花の
 内側の色が鮮やかされ、植
 物の持つ生命力をその種
 き、時の重なりと静を淨
 き上げられます。また、生
 きている植物、生命を分
 けていた、たまたま、感
 こころ、人自然と自然
 的関係を再認識し、小さ
 なものの強さを、ささげ
 との美しさを、ささげけ
 にもなります。



佐賀 巧 (さぬき・たくみ)
 1982年、静岡市生まれ。多摩美術
 大学、東京芸術大学大学院修了。現
 在、八戸学院大短期大学部幼児保
 育学科准教授。2014年より八戸
 城で現代芸術教室「アートイズ」
 を主宰し、アートを通して少しで
 も生きやすい世の中をつくる活動
 をしている。おいらせ町在住。

